

校長室から

東京都立武蔵野北高等学校

校長 鶴飼敦之

「武蔵野北に夢をのせて」

『共通テスト99日前』

10月に入ると毎年正月の風物詩にもなっている箱根駅伝の予選会が気になります。これまで立川市の昭和記念公園で開催され、毎年応援に出かけていました。昨年に続き今年も無観客のようで残念です。

予選会は、関東地区の各大学が正月の本選に向けて鎬をけずるのですが、上位10名の合計タイムが少ない順に10校が選出されます。チームの一人が全体1位でゴールしても残り9名の成績が振るわないとだめ。そこで、最近の各大学の戦術は集団走法がとられているようです。スタートからチームが一団となってレースを展開することで、全体のタイムをあげるという作戦です。互いに声を掛け合いながら極端に遅れる選手を出さないようにチームとしての結果を残すという。

受験は一人一人が目標達成に向けて、頑張らなければならない個人戦ですが、クラスや部活の仲間と切磋琢磨しあったり、情報を交換したりするのは合格の可能性をあげるのに有意義でしょう。全員が落ち着いた雰囲気の中で互いの頑張りや不安を共有しながら最後までやり抜くことが大切です。ある意味、団体戦の面もあるのでしょうか。

『ドラゴン桜』の桜木先生も「みんなで東大いぞ!!」って言っていましたね。

3年生だけでなく、学校全体で学習・受験支援のムードを醸し出していきましょう。

共通テストまでの日数が100日を切りました。

個人で一人、気を吐いているのが、大リーグの大谷翔平選手。今季は歴史的なシーズンの幕を閉じました。メジャー4年目で46本塁打、26盗塁、投手としては9勝で走攻守を兼ね備えたまさにスーパーマンですね。

彼は打撃に関しては、一般的なダウンスイングではなく、アッパーイングでホームランを量産しています。詳しくは近くの野球部員に聞いてください。型にはまったやり方だけが正解ではないかもしれません。

学校教育でも個別最適な学びが主流となっています。個の特性をいかに伸ばすかが重要です。

自分に合った勉強や過ごし方を模索してはどうでしょうか。

先日、学校説明会が開催されました。約720名の中学3年生と保護者が来校され、説明の一つ一つを真剣にメモする姿もありました。ムサキタへの興味関心が高いことを肌で感じました。



【1年生 奉仕体験活動】

当日は、校長挨拶、教員による学校概要や入試制度の説明がありましたが、生徒会生徒による説明が一番好評でした。日々の生活や、行事・部活紹介、そして入試対策まで。説明後は会場から拍手が起きました。やはり、皆さんの声が一番心に響くようです。

正門周辺では部活動の生徒が歓迎の声かけ、ちょっと年上のお兄さん・お姉さんに声をかけられ、驚いたり喜んだり。ぜひ皆さんの後輩として入学してくれると嬉しいですね。



【職員玄関横の朝顔】